



石島 脛太郎



橋本 秀紀

1. 代表幹事

石島 脛太郎 (東京都立科学技術大学 教授)
橋本 秀紀 (東京大学 生産技術研究所 助教授)

連絡先

河野 惇 ((株)フォスターネット)
Tel : 03-3770-5661 (代)
Fax : 03-3770-5077
e-mail : kawano@foster-net.co.jp

2. 主旨

ブロードバンド化の時代を迎えて、ここ数年話題になっているe-Learningが現実のビジネスとして語られるようになった。その産業規模は日本国内で年間1兆円に達すると予測されている。米国では2005年には350億ドルとの報告もあり、ブロードバンド時代のキラコンテンツとして位置付けられている。現在、WBT (Web Based Training)、ポータルサイト、ASP (Application Service Provider) 等のシステム関係は開発が進んでおり、ブロードバンド化の進展とともに市場に現れ使われ始めている。

しかし、このe-Learningの分野において、米国と比較したときの日本の弱点はコンテンツがフロー・属人的・暗黙知に終始してしまっていることにあり、コンテンツのストック化・共有化・形式知化が緊急の課題となっている。一方、米国では、科学的なコンテンツ制作手法であるインストラクショナル・デザインに注目が集まり、学習者に受け入れやすい形でのコンテンツ制作が行われている。

日本に於いても、日本の事情にあったインストラクショナル・デザイン手法の確立と人材(「デザイナー」)育成が緊急の課題である。これは、知的消費の時代である21世紀の重要な産業に成長するe-Learningの中心的な課題と考えられる。

本研究会では、主として日本型インストラクショナル・デザインの理論構築と、デザイナー育成のための手法研究を通じ、質の高いコンテンツを生成する産業育成のための基盤研究を行う。ここでは、教育用ソフトの格付やデータバンクなど様々な体制が必要となるが、「デザイナー」がその中心となることが不可欠である。また、「デザイナー」は今後あらゆる教育機関に必要と考えられ、その養成自体が今後の大きな産業となり得る。

3. その他

年会費 : 20万円

定員 : 10から20社を予定。

運用方法 : 年5から6回の研究会を行い、様々なe-Learning手法、コンテンツの評価を行い日本型インストラクショナル・デザインの基礎を築く。本研究会の中からe-Learningに関する新しいビジネスを始めていくことを期待する。

